

名古屋大学
国語国文学
104

2011年11月

- 「風吹けば」詠の語り — 『大和物語』 第四百十九段論 — …………… 玉田 沙織 (1)
- 夕霧巻にみられる歌物語の系譜 — 帯木巻を起点として …………… 内藤 英子 (17)
- 方丈記の語り手蓮胤と災害叙述 …………… 岡山 高博 (33)
- 岩瀬文庫蔵奈良絵本『住吉物語』の位置づけ …………… 鹿谷 祐子 (47)
- 一九三〇年代の〈山岳文学論争〉を巡って …………… 中村 誠 (59)
- 川端康成と西川博士の「温泉報国」
 — 雑誌『温泉』にみる『雪国』の同時代的言説 …………… 李 明喜 (73)
- 「VダケV」におけるダケの諸用法について …………… 張 培 (110)
- 訳語「天使」^{てんし}の受容過程
 — 明治から昭和戦前を中心にして — …………… 加藤 早苗 (126)
- 書評 畑恵里子著『王朝継子物語と力 — 落窪物語からの視座 —』 …… 本宮 洋幸 (127)
- 齋藤文俊著『漢文訓読と近代日本語の形成』 …………… 堀川 貴司 (135)
- 新刊紹介
- 中島泰貴著『中世王朝物語の引用と話型』 …………… 鹿谷 祐子 (143)
- 山下宏明著『平治物語』(中世の文学) …………… 横山 知恵 (144)

名古屋大学
国語国文学会

編集後記

大災害の年となりましたが、ようやく編集を終えて、会誌百四号をお届けします。

今回の論文は、日本文学関係が六本、日本語学関係が二本です。書評や新刊紹介、また彙報などによって、会員による意欲的で活発な活動をご覧ください。私の本学会の代表としての仕事も、これが最後となります。来年度からは釘貫先生を中心とした体制となる予定です。長らくありがとうございました。今後は「会員」として、この学会のますますの発展に協力させていただきます。

きびしい社会状況が続く中で、教育と研究の役割はますます重要です。皆様のいつそのご活躍を祈念いたします。

(高橋 亨)

名古屋大学国語国文学 第四百号

印刷 平成二十三年十一月十日
発行 平成二十三年十一月十日
編集 名古屋市千種区不老町

名古屋大学文学部内
名古屋大学国語国文学会

(代表) 高橋 亨

〈振替 00860-0-19333〉
TEL (〇五二) 七八九-二二四二

内線二二四二

印刷所 名古屋市西区那古野一-二-一四
株式会社 カ ミ ヤ マ
TEL (〇五二) 五六五-一一一八